

平成25年10月3日

薬事・食品衛生審議会
食品衛生分科会長 岸 玲子 殿

薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会
農薬・動物用医薬品部会長 大野 泰雄

薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会
農薬・動物用医薬品部会報告について

平成25年9月12日付け厚生労働省発食安0912第8号をもって諮問された、食品衛生法（昭和22年法律第233号）第11条第1項の規定に基づくブプロフェジンに係る食品規格（食品中の農薬の残留基準）の設定について、当部会で審議を行った結果を別添のとおり取りまとめたので、これを報告する。

ブプロフェジン

今般の残留基準の検討については、農薬取締法に基づく適用拡大申請に伴う基準値設定依頼が農林水産省からなされたことに伴い、食品安全委員会において食品健康影響評価がなされたことを踏まえ、農薬・動物用医薬品部会において審議を行い、以下の報告を取りまとめるものである。

1. 概要

(1) 品目名：ブプロフェジン [Buprofezin(ISO)]

(2) 用途：殺虫剤

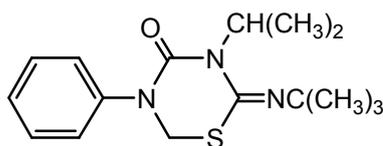
チアジアジン環を有する殺虫剤である。エクダイソン代謝酵素を阻害し、幼虫に対してはキチン生合成の阻害による脱皮異常、成虫に対しては産卵数の抑制や産下卵の不孵化を引き起こして防除効果を示すものと考えられている。

(3) 化学名：

(Z)-2-*tert*-butylimino-3-isopropyl-5-phenyl-1,3,5-thiadiazinan-4-one (IUPAC)

(Z)-2-[(1,1-dimethylethyl)imino]tetrahydro-3-(1-methylethyl)-5-phenyl-4*H*-1,3,5-thiadiazin-4-one (CAS)

(4) 構造式及び物性



分子式	C ₁₆ H ₂₃ N ₃ OS
分子量	305.44
水溶解度	0.387mg/L (20°C)
分配係数	log ₁₀ Pow = 4.80

2. 適用の範囲及び使用方法

本剤の適用の範囲及び使用方法は以下のとおり。

【作物名】、【使用時期】となっているものについては、今回農薬取締法（昭和 23 年法律第 82 号）に基づく適用拡大申請がなされたものを示している。

（1）国内での使用方法

① 25%ブプロフェジン水和剤

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用 液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	ブプロフェジンを含 む農薬の 総使用回数			
みかん	カイガラムシ類幼虫	1000～1500 倍	—	収穫 14 日前まで	3 回以内	散布	3 回以内			
	ミカントゲコナジラミ若齢幼虫	1000 倍								
かんきつ (みかん を除く)	カイガラムシ類幼虫	1000～1500 倍		収穫 45 日前まで						
	ミカントゲコナジラミ若齢幼虫	1000 倍		収穫 30 日前まで				2 回以内	2 回以内	
なし もも	カイガラムシ類幼虫			収穫 21 日前まで				3 回以内	3 回以内	
				かき				開花期まで 但し、 収穫 45 日前まで 収穫後～落葉前	2 回以内	2 回以内
うめ										
				すもも びわ					収穫 7 日前まで	
くり									収穫前日まで	
				キウフルーツ					ツマグロヨコバイ幼虫 ウカ類幼虫	
300 倍										
小 麦			ヒメトビウカ幼虫	1000～2000 倍	—	収穫前日まで	3 回以内	3 回以内		
きゅうり			オンシツコナジラミ幼虫	1000 倍						
		オンシツコナジラミ幼虫								
トマト	タバココナジラミ類幼虫 (シ ルバーリーフコナジラミ幼虫 を含む)	1000 倍								
	オンシツコナジラミ幼虫									
な す	タバココナジラミ類幼虫 (シ ルバーリーフコナジラミ幼虫 を含む)	1000～2000 倍								
	チャノホリダニ幼虫									
ふ き	タバココナジラミ類幼虫 (シ ルバーリーフコナジラミ幼虫を 含む)	1000 倍	収穫 21 日前まで							
	クリシロカイガラムシ若齢幼虫 チャノミドリヒメコバイ幼虫 ミカントゲコナジラミ		摘採 14 日前まで						2 回以内	2 回以内

② 40%ブプロフェジンフロアブル

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ブプロフェジンを含む農薬の総使用回数
稲	ツマグロヨコバイ幼虫 ウンカ類幼虫	16倍	0.8L/10a	収穫7日前まで	4回以内	無人ヘリコプターによる散布	4回以内 (小包装投入は1回以内)
		60倍	3L/10a				
		16倍	0.8L/10a	水田耕起前		空中散布	
		60倍	3L/10a				
小麦	ヒメビウカ幼虫	40~60倍	0.8L/10a	収穫7日前まで	2回以内		3回以内 (空中散布は2回以内)
		16倍					

③ 20%ブプロフェジンフロアブル

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ブプロフェジンを含む農薬の総使用回数
稲	ツマグロヨコバイ幼虫 ウンカ類幼虫	1000倍	60~150L/10a	収穫7日前まで	4回以内		4回以内 (小包装投入は1回以内)
		300倍	25L/10a				
みかん	カイガラムシ類幼虫 ミカドゲキ若齢幼虫	1000倍	200~700L/10a	収穫14日前まで	3回以内	散布	3回以内
かんきつ (みかんを除く)				収穫45日前まで			
りんご	カイガラムシ類幼虫	1000~1500倍	200~700L/10a	収穫30日前まで	2回以内	散布	2回以内
なし		1000倍		収穫21日前まで	3回以内		3回以内
もも				収穫7日前まで	2回以内		2回以内
初刈り		収穫14日前まで		2回以内			2回以内
すもも		収穫30日前まで		1回	1回		
あんず		1000~1500倍		収穫7日前まで	2回以内		2回以内
うめ				収穫30日前まで			
おうとう		1000倍		収穫7日前まで	2回以内		2回以内
ぶどう		3000倍		収穫30日前まで			
いちじく		カイガラムシ類幼虫		1000倍	1000L/10a		収穫14日前まで
マンゴー	収穫3日前まで						
茶	クワシロカイガラムシ若齢幼虫			摘採14日前まで			

④ 1.5%ブプロフェジン粉剤

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ブプロフェジンを含む農薬の総使用回数
稲	ツマグロヨコバイ幼虫 ウンカ類幼虫	3~4kg/10a	収穫7日前まで	4回以内	散布	4回以内 (小包装投入は1回以内)
小麦	ヒメトビウンカ幼虫	3kg/10a		3回以内		3回以内 (空中散布は2回以内)

⑤ 6%ブプロフェジン粒剤

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ブプロフェジンを含む農薬の総使用回数
稲	ウンカ類幼虫	小包装(パック) 20個(1kg)/10a	収穫7日前まで	1回	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる	4回以内 (小包装投入は1回以内)

⑥ 2%ブプロフェジン粒剤

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ブプロフェジンを含む農薬の総使用回数
稲	ウンカ類幼虫	3~4kg/10a	収穫7日前まで	4回以内	湛水散布	4回以内 (小包装投入は1回以内)

⑦ 10%ブプロフェジン・10%アミトラス乳剤

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ブプロフェジンを含む農薬の総使用回数
かんきつ (みかんを除く)	ヤノネカイガラムシ若齢幼虫 ミカンサビダニ コナカイガラムシ類若齢幼虫 ロウムシ類幼虫	750~1000 倍	200~700 L/10a	収穫45日前まで	1回	散布	3回以内
みかん				収穫14日前まで			

⑧ 20%ブプロフェジン・4%フェンピロキシメートフロアブル

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ブプロフェジンを含む農薬の総使用回数
みかん	カイガラムシ類	1000 倍	200～ 700L/10a	収穫 14 日前まで	1 回	散布	3 回以内
	ミカンサビダニ	1000～2000 倍					
	チャノホリダニ	2000 倍					
かんきつ (みかんを除く)	カイガラムシ類	1000 倍		収穫 45 日前まで			
	ミカンサビダニ	1000～2000 倍					
	チャノホリダニ	2000 倍					
もも	カイガラムシ類	1000 倍		収穫 21 日前まで			
ネクタリン				収穫 7 日前まで			
いちじく				収穫 14 日前まで			
キウイフルーツ	カイガラムシ類 キウイメモコバイ					2 回以内	
トマト	コナジラミ類	1000～2000 倍	100～ 300L/10a	収穫前日 まで	3 回 以内	3 回以内	
	トマトサビダニ	1000 倍					
なす	コナジラミ類	1000～2000 倍					
	チャノホリダニ	1000 倍					
きゅうり	コナジラミ類	1000～2000 倍					
すいか メロン							
茶	クシロカイガラムシ 若齢幼虫		1000L/10 a	摘採 14 日前まで	1 回	2 回以内	
	チャノミドリヒメコバ イ、チャノホリガ チャノホリダニ チャノサビダニ チャトゲコナジラミ	1000 倍	200～ 400L/10a				
うめ	カイガラムシ類		200～ 700L/10a	収穫 7 日前まで	2 回 以内		
とうがらし 類	コナジラミ類		100～ 300L/10a	収穫前日まで			

3. 作物残留試験

(1) 分析の概要

①分析対象の化合物

・ブプロフェジン

②分析法の概要

試料からアセトンで抽出し、水及び n-ヘキサン分配により精製後、ガスクロマトグラフ (FTD 又は FID) で定量する。液-液分配の代わりに、多孔性ケイソウ土カラムで精製した後、フロリジルカラムまたは SAX/PSA カラムなどを用い精製を行うことができる。

定量限界 ブプロフェジン : 0.002~0.01 ppm

(2) 作物残留試験結果

国内で実施された作物残留試験の結果の概要については別紙1-1、海外で実施された作物残留試験の結果の概要については別紙1-2を参照。

4. 魚介類への推定残留量

本剤については水系を通じた魚介類への残留が想定されることから、農林水産省から魚介類に関する個別の残留基準の設定について要請されている。このため、本剤の水産動植物被害予測濃度^{注1)}及び生物濃縮係数 (BCF : Bioconcentration Factor) から、以下のとおり魚介類中の推定残留量を算出した。

(1) 水産動植物被害予想濃度

本剤が水田及び水田以外のいずれの場面においても使用されることから、水田 PECtier2^{注2)}及び非水田 PECtier1^{注3)}を算出したところ、水田 PECtier2 は 0.22ppb、非水田 PECtier1 は 0.028ppb となったことから、水田 PECtier2 の 0.22ppb を採用した。

(2) 生物濃縮係数

¹⁴C で標識したブプロフェジン (0.04ppm) を用いた 14 日間の取込期間及び 7 日間の排泄期間を設定したブルーギルの魚類濃縮性試験が実施された。¹⁴C-放射能濃度分析 (水及び魚体 10、11 日目時点) 及び代謝物の定性定量 (魚体 11 及び 14 日、水 7 日) を実施した結果、魚体全身中の総残留放射能 (TRR) が 90% 平衡に達する推定時間は 1.7 日と算出された。また、11~14 日目における魚肉及び内臓の TRR に占めるブプロフェジンの割合はそれぞれ 26.6~37.2% (平均 : 31.9%) 及び 14.8~15.5% (平均 : 15.2%) であった。この結果から得られる魚体中のブプロフェジンの割合は 19.3% と算出された。また、試験水中の TRR に占めるブプロフェジンの割合は、4~14 日目における試験水中におけるブプロフェジンの濃度を踏まえ 56.4% と算出された。

本試験から求められる TRR としての BCF は、 BCF_{ss} ^{注4)} = 476、 BCF_k ^{注5)} = 464 と算出されたが、この BCF_{ss} の値は全ての代謝物を含んでいる。ブプロフェジンとしての BCF を算出するためには、水中および全身の TRR に占めるブプロフェジンの割合を考慮し、ブプロフェジンとしての BCF は、

$BCF_{ss} \times \{(\text{魚体全身中のブプロフェジンの平均}\%) / (\text{試験水中のブプロフェジンの平}$

均%))}

$476 \times (19.3\%/56.4\%) = 163$ と算出された。

(3) 推定残留量

(1) 及び(2)の結果から、ブプロフェジンの水産動植物被害予測濃度:0.22ppb、BCF:163とし、下記のとおり推定残留量が算出された。

推定残留量 $=0.22\text{ppb} \times (163 \times 5) = 179.3 \text{ ppb} \div 0.18 \text{ ppm}$

注1) 農薬取締法第3条第1項第6号に基づく水産動植物の被害防止に係る農薬の登録保留基準設定における規定に準拠。

注2) 水田中や河川中での農薬の分解や土壌・底質への吸着、止水期間等を考慮して算出したもの。

注3) 既定の地表流出率、ドリフト率で河川中に流入するものとして算出したもの。

注4) BCF_{ss}: 定常状態における被験物質の魚体中濃度と水中濃度の比で求められたBCF

注5) BCF_k: 被験物質の取込速度定数と排泄速度定数から求められたBCF

注6) BCF_kについては、排泄期間における代謝物の経時的な定性・定量が実施されていないことから、ブプロフェジンとしてのBCF_kは算出していない。

(参考:平成19年度厚生労働科学研究費補助金食品の安心・安全確保推進研究事業「食品中に残留する農薬等におけるリスク管理手法の精密化に関する研究」分担研究「魚介類への残留基準設定法」報告書)

5. 畜産物への推定残留量

本剤については、稲に適用があるため、飼料として給与した稲わらや稲発酵粗飼料を通じ家畜の筋肉等への移行が想定されることから、飼料の最大給与割合等から算出した飼料中の最大残留農薬濃度と、JMPRにおける評価時に使用された動物飼養試験の結果を用い、以下のとおり畜産物中の推定残留量を算出した。

(1) 飼料中の残留農薬濃度

飼料及び飼料添加物の成分規格等に関する省令(昭和51年農林省令第35号)に定める飼料一般の成分規格等と飼料の最大給与割合等から、飼料の摂取によって家畜が暴露される飼料中の残留農薬濃度を算出した。本剤については、稲わら及び稲発酵粗飼料中に残留する農薬の指導基準として、それぞれ25 ppm 及び15 ppm と設定されている。この指導基準や、前述の成分規格等で定められている基準値上限まで飼料中に農薬が残留している場合を仮定し、これに飼料の最大給与割合等を掛け合わせるにより飼料中の最大残留農薬濃度(MDB;Maximum Dietary Burden)を算出したところ、乳牛において20 ppm、肉牛において17 ppm と推定された。

(2) 動物飼養試験(家畜残留試験)

今回、畜産物中の推定残留量を算出するにあたっては、1999年にJMPRにおいて評価された際に用いられた飼養試験の結果を参照した。

乳牛に対し、飼料中濃度としてブプロフェジン5、15、50ppm相当を含有するゼラチンカプセルを28日間にわたり摂食させ、筋肉、脂肪、肝臓、腎臓中のブプロフェジンを測定した(定量限界:0.05 ppm)。また、牛乳については、投与開始後、1、2、4、7、10、14、17、

21、24 及び28 日目に搾乳したものを測定した（定量限界：0.01ppm）。結果については表1を参照。

表 1. 組織中の残留量 (ppm)

	5.0ppm 投与群	15ppm 投与群	50ppm 投与群
筋肉	<0.05 (最大) <0.05 (平均)	<0.05 (最大) <0.05 (平均)	<0.05 (最大) <0.05 (平均)
脂肪	<0.05 (最大) <0.05 (平均)	<0.05 (最大) <0.05 (平均)	0.12 (最大) 0.10 (平均)
肝臓	<0.05 (最大) <0.05 (平均)	<0.05 (最大) <0.05 (平均)	0.05 (最大) <0.05 (平均)
腎臓	<0.05 (最大) <0.05 (平均)	<0.05 (最大) <0.05 (平均)	<0.05 (最大) <0.05 (平均)
乳	<0.01 (平均)	<0.01 (平均)	<0.01 (平均)

(3) 推定残留量

飼料中のMTDBと動物飼養試験における投与量から、畜産物中の推定残留量（最大値）を算出した。結果については表2を参照。

表 2. 畜産物中の推定残留量；牛 (ppm)

	筋肉	脂肪	肝臓	腎臓	乳
乳牛	0.02	0.05	0.02	0.02	0.004
肉牛	0.017	0.04	0.017	0.017	
最大値	0.02	0.05	0.02	0.02	0.004

6. ADI の評価

食品安全基本法（平成 15 年法律第 48 号）第 24 条第 1 項第 1 号の規定に基づき、食品安全委員会あて意見を求めたブプロフェジンに係る食品健康影響評価について、以下のとおり評価されている。

無毒性量：0.90 mg/kg 体重/day（発がん性は認められなかった。）

（動物種）

ラット

（投与方法）

混餌

（試験の種類）

慢性毒性／発がん性併合試験

（期間）

2 年間

安全係数：100

ADI：0.009 mg/kg 体重/day

in vivo 小核試験の1試験において小核の誘発が認められたが、ブプロフェジンに発がん

性もないことから、生体において問題となる遺伝毒性はないものと考えられた。

7. 諸外国における状況

1991年にJMPRにおける毒性評価が行われ、ADIが設定されている。国際基準はりんご、トマト等に設定されている。

米国、カナダ、欧州連合(EU)、オーストラリア及びニュージーランドについて調査した結果、米国においてバナナ、アボカド等に、EUにおいてかんきつ、りんご等に、オーストラリアにおいてぶどう、マンゴー等に、ニュージーランドにおいてぶどう、仁果類等に基準値が設定されている。

8. 基準値案

(1) 残留の規制対象

ブプロフェジンとする。

魚介類については推定残留量を算出する際に得られた実測BCFおよび水産PECがブプロフェジンのみを対象としていることから、魚介類の規制対象をブプロフェジンのみとすることとした。

なお、食品安全委員会による食品健康影響評価においても、農産物及び魚介類中の暴露評価対象物質としてブプロフェジン(親化合物のみ)を設定している。

(2) 基準値案

別紙2のとおりである。

(3) 暴露評価

個別の作物残留試験成績等がある食品については推定される平均的な量まで、それ以外の食品については基準値案の上限の量までブプロフェジンが残留していると仮定し、国民栄養調査結果における各食品の平均摂取量に基づき試算される、1日当たり摂取する農薬の量のADIに対する比は、以下のとおりである。詳細な暴露評価は別紙3参照。なお、本暴露評価は、各食品分類において、加工・調理による残留農薬の増減が全くないとの仮定の下に行った。

	EDI/ADI (%) ^{注)}
国民平均	36.3
幼小児(1~6歳)	68.6
妊婦	33.0
高齢者(65歳以上)	36.4

注) 個別の作物残留試験成績等がある食品についてはEDI試算、それ以外の食品についてはTMDI試算を行った。

TMDI 試算法：基準値案×各食品の平均摂取量

EDI 試算法：作物残留試験成績から推定される残留量×各食品の平均摂取量

ブプロフェジン作物残留試験一覧表

農作物	試験圃場数	試験条件			最大残留量 (ppm) ^{注1)} [ブプロフェジン]	
		剤型	使用量・使用方法	回数		経過日数
水稻 (玄米)	2	50%水和剤	1000倍散布 160L, 150L-200L/10a	4回	7, 14, 21, 30日 7, 14, 20, 31日	圃場A: 0.056 (#) ^{注2)} 圃場B: 0.128 (#)
水稻 (玄米)	2	2%粒剤	4kg/10a 散布	4回	21, 30, 45, 60日	圃場A: 0.02 (4回, 21日) 圃場B: 0.005 (4回, 21日)
水稻 (玄米)	2	40%フロアブル	40倍空中散布 3L/10a	1回	86日 83日	圃場A: <0.005 圃場B: <0.005
水稻 (玄米)	2	25%水和剤	1000倍散布 120L/10a	1回	77日 83日	圃場A: <0.005 圃場B: <0.005
水稻 (玄米)	2	1.5%粉剤	4kg/10a 散布	4回	7, 14, 21日 7, 13, 20日	圃場A: 0.026 圃場B: 0.030
水稻 (玄米)	2	40%フロアブル	16倍空中散布 0.8L/10a	1回	47日 52日	圃場A: <0.005 圃場B: <0.005
水稻 (玄米)	2	25%水和剤	2000倍散布 80L/10a	1回	47日 52日	圃場A: <0.005 圃場B: <0.005
水稻 (玄米)	2	40%フロアブル	16倍散布 0.8L/10a	1回	21, 30日	圃場A: 0.026 (1回, 21日) 圃場B: 0.022 (1回, 30日)
水稻 (玄米)	2	25%水和剤	140倍散布 25L/10a	4回 3回	7日	圃場A: 0.10 (#) 圃場B: 0.03 (#)
水稻 (玄米)	2	25%水和剤	300倍散布 25L/10a	4回 3回	7日	圃場A: 0.05 圃場B: 0.05
水稻 (玄米)	2	6%粒剤 +2%粒剤	100g×10袋/10a散布 +3kg, 4kg/10a散布	1+3回	21日	圃場A: <0.01 圃場B: <0.01
水稻 (玄米)	2	20%フロアブル	1000倍散布 150L/10a	4回	7日	圃場A: 0.122 圃場B: 0.060
水稻 (玄米)	2	25%水和剤	1000倍散布 150L/10a	4回	7日	圃場A: 0.158 圃場B: 0.088
水稻 (玄米)	2	20%フロアブル	300倍散布 25L/10a	4回	7日	圃場A: 0.070 圃場B: 0.025
水稻 (玄米)	2	25%水和剤 +40%フロアブル	1000倍散布150L/10a +16倍空中散布0.8L/10a	3+1回	7, 14日	圃場A: 0.042 圃場B: 0.113 (4回, 14日)
水稻 (玄米)	2	40%フロアブル	16倍散布 0.8L/10a	1回	20日 21日	圃場A: 0.008 圃場B: 0.027
水稻 (玄米)	2	20%水和剤	1000倍散布 150L/10a	1回	20日 21日	圃場A: 0.022 圃場B: 0.046
水稻 (玄米)	2	25%水和剤	1000倍散布 150L/10a	1回	20日 21日	圃場A: 0.031 圃場B: 0.051
水稻 (玄米)	2	2%粒剤	4kg/10a 散布	4回	7, 14, 21, 28日	圃場A: <0.01 圃場B: <0.01
水稻 (玄米)	2	40%フロアブル	16倍空中散布 0.8L/10a	4回	7, 14, 21日	圃場A: 0.04 (4回, 14日) 圃場B: 0.04
小麦 (子実)	2	25%水和剤	1000倍散布 200L/10a	3回	10, 18, 25, 32日 7, 14, 21, 30日	圃場A: 0.084 (4回, 10日) 圃場B: 0.093
小麦 (子実)	2	40%フロアブル	40倍空中散布 3L/10a	1回	19日 31日	圃場A: 0.066 圃場B: 0.006
小麦 (子実)	2	25%水和剤	1000倍散布 120L/10a	1回	19日 31日	圃場A: 0.044 圃場B: 0.008
小麦 (子実)	2	40%フロアブル	16倍空中散布 0.8L/10a	1回	30日 28日	圃場A: <0.005 圃場B: 0.005

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 (ppm) ^{注1)} [プロロフェジン]
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
小麦 (子実)	1	25%水和剤	1200倍散布 100L/10a	1回	30日	圃場A : <0.005
小麦 (子実)	1	25%水和剤	1000倍散布 100L/10a	1回	28日	圃場A : 0.005
みかん (果肉)	2	25%水和剤	500倍散布 500L/10a	5回	14, 21, 31日 14, 21, 30日	圃場A : 0.04 (5回, 14日) (#) 圃場B : 0.071 (5回, 14日) (#)
みかん (果皮)	2	25%水和剤	500倍散布 500L/10a	5回	14, 21, 31日 14, 21, 30日	圃場A : 0.72 (5回, 14日) (#) 圃場B : 0.80 (5回, 14日) (#)
みかん (ジュース)	2	25%水和剤	500倍散布 500L/10a	5回	7日	圃場A : 0.014 (#) 圃場B : 0.02 (#)
みかん (果肉)	2	25%水和剤 +10%乳剤	1000倍散布 700L/10a +750倍散布 700L/10a	4+1回	14, 28, 42日	圃場A : 0.23 (5回, 14日) (#) 圃場B : 0.03 (#) (5回, 14日) (#)
みかん (果皮)	2	25%水和剤 +10%乳剤	1000倍散布 700L/10a +750倍散布 700L/10a	4+1回	14, 28, 42日	圃場A : 11.05 (5回, 14日) (#) 圃場B : 1.06 (5回, 14日) (#)
みかん (果実)	2	25%水和剤 +10%乳剤	1000倍散布 700L/10a +750倍散布 700L/10a	4+1回	14, 28, 42日	圃場A : 1.73 (5回, 14日) (#) 圃場B : 0.27 (5回, 14日) (#)
みかん (果肉)	2	25%水和剤 +10%乳剤	1000倍散布 700L/10a +750倍散布 700L/10a	3+2回	14, 28, 42日	圃場A : 0.20 (5回, 28日) (#) 圃場B : 0.04 (5回, 28日) (#)
みかん (果皮)	2	25%水和剤 +10%乳剤	1000倍散布 700L/10a +750倍散布 700L/10a	3+2回	14, 28, 42日	圃場A : 5.38 (5回, 28日) (#) 圃場B : 1.58 (5回, 28日) (#)
みかん (果実)	2	25%水和剤 +10%乳剤	1000倍散布 700L/10a +750倍散布 700L/10a	3+2回	14, 28, 42日	圃場A : 1.42 (5回, 28日) (#) 圃場B : 0.27 (5回, 28日) (#)
みかん (果肉)	2	25%水和剤 +10%乳剤	1000倍散布 700L/10a +750倍散布 700L/10a	1+1回	14, 28, 42日	圃場A : 0.01 圃場B : <0.01
みかん (果皮)	2	25%水和剤 +10%乳剤	1000倍散布 700L/10a +750倍散布 700L/10a	1+1回	14, 28, 42日	圃場A : 0.55 圃場B : 0.40
みかん (果実)	2	25%水和剤 +10%乳剤	1000倍散布 700L/10a +750倍散布 700L/10a	1+1回	14, 28, 42日	圃場A : 0.10 圃場B : 0.07
みかん (果肉)	2	25%水和剤 +10%乳剤	1000倍散布 700L/10a +750倍散布 700L/10a	2+1回	14, 28, 42日	圃場A : 0.01 圃場B : 0.02
みかん (果皮)	2	25%水和剤 +10%乳剤	1000倍散布 700L/10a +750倍散布 700L/10a	2+1回	14, 28, 42日	圃場A : 0.42 (3回, 28日) 圃場B : 0.62
みかん (果実)	2	25%水和剤 +10%乳剤	1000倍散布 700L/10a +750倍散布 700L/10a	2+1回	14, 28, 42日	圃場A : 0.06 (3回, 28日) 圃場B : 0.13
みかん (果肉)	2	25%水和剤	1000倍散布 700L/10a	2回	14, 28, 42日	圃場A : 0.02 (3回, 28日) 圃場B : 0.02
みかん (果皮)	2	25%水和剤	1000倍散布 700L/10a	2回	14, 28, 42日	圃場A : 1.68 圃場B : 0.40
みかん (果実)	2	25%水和剤	1000倍散布 700L/10a	2回	14, 28, 42日	圃場A : 0.31 圃場B : 0.08
みかん (果肉)	2	25%水和剤	1000倍散布 700L/10a	3回	14, 28, 42日	圃場A : 0.02 (3回, 28日) 圃場B : 0.02
みかん (果皮)	2	25%水和剤	1000倍散布 700L/10a	3回	14, 28, 42日	圃場A : 1.57 圃場B : 0.82
みかん (果実)	2	25%水和剤	1000倍散布 700L/10a	3回	14, 28, 42日	圃場A : 0.28 圃場B : 0.15
みかん (果肉)	2	20%フロアブル	1000倍散布 700L/10a	3回	14, 28, 42日 14, 30, 42日	圃場A : 0.081 圃場B : 0.052
みかん (果皮)	2	20%フロアブル	1000倍散布 700L/10a	3回	14, 28, 42日 14, 30, 42日	圃場A : 1.16 (3回, 28日) 圃場B : 1.56
みかん (果実)	2	20%フロアブル	1000倍散布 700L/10a	3回	14, 28, 42日 14, 30, 42日	圃場A : 0.28 (3回, 28日) 圃場B : 0.450

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 (ppm) ^{注1)} [プロロフェジン]
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
夏みかん (果肉)	2	25%水和剤	1000倍散布 500, 600L/10a	3回	<u>45</u> , 60, 90日 <u>45</u> , 60, 89日	圃場A : 0.010 圃場B : <0.01
夏みかん (果実)	2	25%水和剤	1000倍散布 500, 600L/10a	3回	<u>45</u> , 60, 90日 <u>45</u> , 60, 89日	圃場A : 0.10 圃場B : 0.08 (3回, 60日)
夏みかん (果肉)	2	25%水和剤 +10%乳剤	1000倍散布 500, 600L/10a +750倍散布 500L/10a	2+1回	<u>45</u> , 60, 90日 <u>45</u> , 60, 89日	圃場A : 0.010 圃場B : 0.007 (3回, 89日)
夏みかん (果実)	2	25%水和剤 +10%乳剤	1000倍散布 500, 600L/10a +750倍散布 500L/10a	2+1回	<u>45</u> , 60, 90日 <u>45</u> , 60, 89日	圃場A : 0.09 圃場B : 0.06 (3回, 60日)
夏みかん (果肉)	2	20%フロアブル	1000倍散布 700L/10a	3回	44, 56, 87日 42, 57, 86日	圃場A : <0.005 (3回, 44日) 圃場B : <0.005 (3回, 42日)
夏みかん (果実)	2	20%フロアブル	1000倍散布 700L/10a	3回	44, 56, 87日 42, 57, 86日	圃場A : 0.038 (3回, 44日) 圃場B : 0.050 (3回, 42日)
ゆず (果実)	1	25%水和剤	1000倍散布 500L/10a	1回	98日	圃場A : <0.01
ゆず (果実)	1	25%水和剤	1000倍散布 500L/10a	2回	56日	圃場A : <0.01
ゆず (果実)	1	10%乳剤	750倍散布 450L/10a	1回	102日	圃場A : 0.02
ゆず (果実)	1	10%乳剤	750倍散布 450L/10a	2回	51日	圃場A : 0.03
すだち (果実)	1	25%水和剤	1000倍散布 500L/10a	3回	42日	圃場A : 0.02
すだち (果実)	1	25%水和剤 +10%乳剤	1000倍散布 500L/10a +750倍散布 500L/10a	2+1回	42日	圃場A : 0.01
すだち (果実)	1	20%フロアブル	1000倍散布 700L/10a	3回	42, 56日	圃場A : 0.013 (3回, 56日)
かぼす (果実)	1	20%フロアブル	1000倍散布 700L/10a	3回	65日	圃場A : <0.005
だいたい (果実)	2	25%水和剤	1000倍 500L/10a	3回	42, 75, 89日 42, 56, 86日	圃場A : <0.01 (3回, 42日) 圃場B : 0.51 (3回, 42日)
だいたい (果実)	2	25%水和剤 +10%乳剤	1000倍散布 500L/10a +750倍散布 500L/10a	2+1回	42, 75, 89日 42, 56, 89日	圃場A : <0.01 (3回, 42日) 圃場B : 0.08 (3回, 56日)
レモン (果実)	1	25%水和剤	1000倍 500L/10a	3回	42, 56, 84日	圃場A : 0.69 (3回, 56日)
レモン (果実)	1	25%水和剤 +10%乳剤	1000倍散布 500L/10a +750倍散布 500L/10a	2+1回	42, 56, 84日	圃場A : 0.28 (3回, 42日)
スイートオレンジ (果実)	1	25%水和剤	1000倍 500L/10a	3回	42, 56, 84日	圃場A : 0.62 (3回, 42日)
スイートオレンジ (果実)	1	25%水和剤 +10%乳剤	1000倍散布 500L/10a +750倍散布 500L/10a	2+1回	42, 56, 84日	圃場A : 0.36 (3回, 42日)
びわ (果実)	2	25%水和剤	1000倍散布 400L/10a	2回	<u>14</u> , 28, 42日	圃場A : 0.074 圃場B : 0.100 (2回, 28日)
キウイフルーツ (果肉)	2	25%水和剤	1000倍散布 400L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A : 0.033 (2回, 21日) 圃場B : 0.013 (2回, 14日)
キウイフルーツ (果皮)	2	25%水和剤	1000倍散布 400L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A : 41.8 (2回, 7日) 圃場B : 24.8 (2回, 21日)
キウイフルーツ (果肉)	2	20%フロアブル	1000倍散布 400, 500L/10a	2回	<u>1</u> , 7, 28日 <u>1</u> , 7, 27日	圃場A : 0.16 圃場B : 0.08 (2回, 7日)
キウイフルーツ (果肉)	2	25%水和剤	1000倍散布 400, 500L/10a	2回	<u>1</u> , 7, 28日 <u>1</u> , 7, 27日	圃場A : 0.10 圃場B : 0.06 (2回, 7日)

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 (ppm) ^{注1)} [プロフェジン]
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
もも (果肉)	2	25%水和剤	1000倍散布 138, 500L/10a	3回	21, 28日	圃場A : 0.076 圃場B : 0.074 (3回, 28日)
もも (果皮)	2	25%水和剤	1000倍散布 138, 500L/10a	3回	21, 28日	圃場A : 3.56 圃場B : 1.24 (3回, 28日)
もも (果肉)	1	20%水和剤	1000倍散布 500L/10a	3回	21日	圃場A : 0.346
もも (果皮)	1	20%水和剤	1000倍散布 500L/10a	3回	21日	圃場A : 11.6
もも (果肉)	2	20%フロアブル	1000倍散布 500, 300L/10a	3回	21, 28, 42日 21, 28, 41日	圃場A : 0.34 圃場B : 0.19
もも (果皮)	2	20%フロアブル	1000倍散布 500, 300L/10a	3回	21, 28, 42日 21, 28, 41日	圃場A : 8.09 圃場B : 7.40
なし (果実)	2	25%水和剤	2000倍散布 400L/10a	2回	45, 60日	圃場A : 0.022 (2回, 45日) 圃場B : 0.024 (2回, 45日)
なし (果実)	2	25%水和剤	1000倍散布 400L/10a	2回	30, 45, 60日	圃場A : 0.168 圃場B : 0.156
なし (果実)	2	25%水和剤	1000倍散布 400L/10a	2回	29, 43日 30, 44日	圃場A : 0.094 (2回, 29日) 圃場B : 0.062
なし (果実)	2	20%フロアブル	1000倍散布 400, 625L/10a	2回	28, 42, 56日 28, 41, 56日	圃場A : 0.853 (2回, 28日) 圃場B : 0.472 (2回, 28日)
うめ (果実)	2	25%水和剤	1000倍散布 800, 500L/10a	4回	106日 136日	圃場A : <0.005 (#) 圃場B : <0.005 (#)
うめ (果実)	2	25%水和剤	1000倍散布 500L/10a	4回	104日 132日	圃場A : <0.01 (#) 圃場B : 0.010 (#)
うめ (果実)	2	20%フロアブル	1000倍散布 400, 375L/10a	2回	43, 56, 84, 114日 45, 59, 88, 112日	圃場A : 0.082 圃場B : 0.132
うめ (果実)	2	20%フロアブル	1000倍散布 400L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A : 1.91 圃場B : 2.74
りんご (果実)	2	20%フロアブル	1000倍散布 700L/10a	2回	28, 42日 29, 44日	圃場A : 0.18 (2回, 42日) 圃場B : 0.08 (2回, 29日)
かき (果実)	2	25%水和剤	1000倍散布 500L/10a	2回	44, 60日 45, 60日	圃場A : 0.043 (2回, 44日) 圃場B : 0.184
すもも (果実)	2	25%水和剤	1000倍散布 400L/10a	2回	13, 20, 27, 42日 14, 21, 28, 45日	圃場A : 0.536 (2回, 13日) 圃場B : 0.110
すもも (果実)	2	25%水和剤	1000倍散布 400L/10a	2回	21, 28, 42日	圃場A : 0.11 (2回, 42日) 圃場B : 0.08 (2回, 21日)
すもも (果実)	2	20%フロアブル	1000倍散布 400L/10a	2回	23, 36, 51日 21, 30, 45日	圃場A : 0.055 (2回, 23日) 圃場B : 0.056 (2回, 45日)
すもも (果実)	1	20%フロアブル	1000倍散布 400L/10a	2回	21, 42, 85日	圃場A : 0.18 (2回, 21日)
すもも (果実)	2	20%フロアブル	1000倍散布 400L/10a	2回	14, 21日 14, 21日	圃場A : 0.30 圃場B : 0.08
ネクタリン (果実)	2	20%フロアブル	1000倍散布 400L/10a	2回	21, 28, 42日	圃場A : 1.19 (2回, 21日) 圃場B : 0.50 (2回, 21日)
ネクタリン (果実)	2	20%フロアブル	1000倍散布 367, 350L/10a	2回	7, 14, 19日	圃場A : 1.98 圃場B : 2.70 (2回, 14日)
あんず (果実)	2	20%フロアブル	1000倍散布 200, 350L/10a	1回	30, 45日	圃場A : 0.30 (1回, 45日) 圃場B : 0.19 (1回, 45日)

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 (ppm) ^{注1)} [プロロフェジン]
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
ぶどう (果実)	1	25%水和剤	4000倍散布 300L/10a	2回	31, 60日	圃場A : <0.005 (2回, 31日) (#)
ぶどう (果実)	2	25%水和剤	2000倍散布 300L/10a	2回	31, 60日	圃場A : <0.005 (2回, 31日) (#) 圃場B : 0.010 (2回, 31日) (#)
ぶどう (果実)	1	25%水和剤	1000倍散布 300L/10a	2回	31, 60日	圃場A : 0.079 (2回, 31日) (#)
ぶどう (果実)	2	25%水和剤	2000倍散布 400L/10a	2回	31, 45, 61日 30, 45, 60日	圃場A : 0.292 (2回, 31日) (#) 圃場B : 0.284 (2回, 30日) (#)
ぶどう (果実)	2	25%水和剤	3000倍散布 400L/10a	2回	31, 45, 61日 30, 45, 60日	圃場A : 0.185 (2回, 31日) (#) 圃場B : 0.217 (2回, 30日) (#)
ぶどう (果実)	2	20%フロアブル	1000倍散布 200, 300L/10a	2回	30, 44, 58日 30, 42, 57日	圃場A : 0.18 圃場B : 0.26
おうとう (果実)	2	20%フロアブル	1000倍散布 400L/10a	2回	21, 30, 43日 21, 28, 42日	圃場A : 0.50 (2回, 30日) 圃場B : 0.758 (2回, 21日)
おうとう (果実)	2	20%フロアブル	1000倍散布 450, 555L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A : 1.42 (2回, 14日) 圃場B : 1.70 (2回, 14日)
いちじく (果実)	2	20%フロアブル	1000倍散布 500, 440-550L/10a	2回	14, 21, 44日 14, 21, 42日	圃場A : 0.24 圃場B : 0.24
くり (果実)	2	25%水和剤	1000倍散布 350, 500L/10a	2回	7, 14日 7, 15日	圃場A : <0.005 圃場B : <0.005
きゅうり (果実)	2	25%水和剤	500倍散布 400, 115L/10a	3回	1, 3, 7, 14, 21日	圃場A : 0.730 (3回, 1日) (#) 圃場B : 0.250 (3回, 1日) (#)
きゅうり (果実)	4	25%水和剤	1000倍散布 220- 300, 300, 300, 300L/10a	3回	1, 3, 7日	圃場A : 0.75 圃場B : 0.35 圃場C : 0.68 圃場D : 0.36
きゅうり (果実)	2	25%水和剤	1000倍散布 242, 250L/10a	3回	1, 3, 7日	圃場A : 0.52 圃場B : 0.38
きゅうり (果実)	2	20%フロアブル	1000倍散布 300L/10a	3回	1, 3, 7日	圃場A : 0.36 圃場B : 0.45
きゅうり (果実)	2	20%フロアブル	1000倍散布 300L/10a	3回	1日	圃場A : 0.39 圃場B : 0.44
トマト (果実)	2	25%水和剤	500倍散布 400L/10a	3回	1, 3, 7, 14, 21日	圃場A : 1.22 (3回, 3日) (#) 圃場B : 0.494 (3回, 1日) (#)
トマト (果実)	2	25%水和剤	1000倍散布 400L/10a	3回	1, 3, 7, 14	圃場A : 0.405 圃場B : 0.348
トマト (果実)	2	25%水和剤	1000倍散布 300, 250L/10a	1回	1, 3, 7	圃場A : 0.046 圃場B : 0.352
トマト (果実)	2	25%水和剤	1000倍散布 300, 250L/10a	3回	1, 3, 7日	圃場A : 0.282 圃場B : 0.732
トマト (果実)	2	25%水和剤	1000倍散布 300L/10a	3回	1, 3, 7日	圃場A : 0.392 圃場B : 0.308 (3回, 7日)
トマト (果実)	4	25%水和剤	1000倍散布 250- 300, 300, 250, 300L/10a	3回	1, 3, 7日	圃場A : 0.48 圃場B : 0.30 圃場C : 0.53 (3回, 3日) 圃場D : 0.61
トマト (果実)	2	20%フロアブル	2000倍散布 215-300, 300L/10a	3回	1, 3, 7日	圃場A : 0.36 圃場B : 0.30
トマト (果実)	2	20%フロアブル	2000倍散布 215-300, 300L/10a	3回	1, 3, 7日	圃場A : 0.51 圃場B : 0.38

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 (ppm) ^{注1)} [プロロフェジン]
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
トマト (果実)	1	20%フロアブル	1000倍散布 300L/10a	3回	1日	圃場A: 0.52
トマト (果実)	1	20%フロアブル	1000倍散布 300L/10a	3回	1日	圃場A: 0.457
ピーマン (果実)	2	20%フロアブル	800倍散布 200, 250L/10a	3回	1, 3, 7日	圃場A: 0.72 (3回, 1日) (#) 圃場B: 1.23 (3回, 1日) (#)
なす (果実)	2	25%水和剤	2000倍散布 300L/10a	3回	1, 3日	圃場A: 0.227 圃場B: 0.124
なす (果実)	2	25%水和剤	1500倍散布 300L/10a	3回	1, 3日	圃場A: 0.362 圃場B: 0.128
なす (果実)	2	25%水和剤	1000倍散布 300L/10a	3回	1, 3日	圃場A: 0.436 圃場B: 0.132
なす (果実)	2	20%フロアブル	1000倍散布 250, 300L/10a	3回	1, 3, 7日	圃場A: 0.48 圃場B: 0.42
なす (果実)	2	20%フロアブル	1000倍散布 300L/10a	3回	1日	圃場A: 0.26 圃場B: 0.04
ししとう (果実)	2	20%フロアブル	1000倍散布 300, 284L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A: 2.98 圃場B: 3.64
甘長とうがらし (果実)	2	20%フロアブル	800倍散布 200L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A: 1.06 (#) 圃場B: 2.48 (#)
甘長とうがらし (果実)	1	20%フロアブル	800倍散布 200L/10a	3回	1, 3, 7日	圃場A: 2.10 (3回, 1日) (#)
甘長とうがらし (果実)	1	20%フロアブル	800倍散布 200L/10a	1回	1, 3, 7日	圃場A: 2.35 (#)
ふき (葉柄)	2	25%水和剤	1000倍散布 150L/10a	3回	21, 42日	圃場A: 0.517 圃場B: 1.34
茶 (製茶)	2	25%水和剤	1000倍散布 1000L/10a	2回	14, 21日	圃場A: 9.84 圃場B: 7.13
茶 (浸出液)	2	25%水和剤	1000倍散布 1000L/10a	2回	14, 21日	圃場A: 0.239 圃場B: 0.192
茶 (荒茶)	2	25%水和剤	1000倍散布 200, 1000L/10a	2回	14, 21, 28日	圃場A: 12.4 圃場B: 9.25
茶 (浸出液)	2	25%水和剤	1000倍散布 200, 1000L/10a	2回	14, 21, 28日	圃場A: 0.36 圃場B: 0.36
茶 (荒茶)	2	20%フロアブル	1000倍散布 500, 1000L/10a	2回	14, 21, 28日	圃場A: 6.90 圃場B: 10.8
茶 (浸出液)	2	20%フロアブル	1000倍散布 500, 1000L/10a	2回	14, 21, 28日	圃場A: 0.16 圃場B: 0.38

注1) 最大残留量: 当該農薬の申請の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験 (いわゆる最大使用条件下の作物残留試験) を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留量。(参考: 平成10年8月7日付「残留農薬基準設定における暴露評価の精密化に係る意見具申」)

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留量が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留量が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について () 内に記載した。

注2) (#): これらの作物残留試験は、申請の範囲内で試験が行われていない。なお、適用範囲内で実施されていない試験条件を斜体で示した。

注3) 今回、新たに提出された作物残留試験成績に網を付けて示している。

ブプロフェジン海外作物残留試験一覧表

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 (ppm) 注1)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
オレンジ (果実)	1	25%水和剤	0.5kg ai/ha 散布	3回	28, 63, 91, 105日	圃場A : 0.03 (3回、28日)
オレンジ (果実)	3	25%水和剤	1kg ai/ha 散布	1回	7日	圃場A : 0.06 圃場B : 0.03 圃場C : 0.03
オレンジ (果実)	2	水和剤	0.26kg ai/ha 散布	1回	7日	圃場A : 0.06 圃場B : 0.07
オレンジ (果実)	1	水和剤	0.52kg ai/ha 散布	1回	7日	圃場A : 0.13
オレンジ (果実)	2	水和剤	0.51kg ai/ha 散布	1回	7日	圃場A : 0.26 圃場B : 0.24
オレンジ (果実)	1	水和剤	1kg ai/ha 散布	1回	7日	圃場A : 0.43
オレンジ (果実)	17	70%水和剤	2 lb ai/A 散布	2回	3, 5, 15, 30日 3日 3, 5, 15, 30日 3日	圃場A : 0.998 圃場B : 0.655 圃場C : 1.7765 圃場D : 1.3695 圃場E : 1.6785 圃場F : 1.3225 圃場G : 0.393 圃場H : 0.8565 圃場I : 1.239 圃場J : 1.269 圃場K : 1.5815 圃場L : 0.672 圃場M : 1.1075 圃場N : 1.743 (2回、5日) 圃場O : 1.296 圃場P : 1.796 圃場Q : 1.314
きゅうり (果実)	3	25%水和剤	0.25kg ai/ha 散布	2回	0, 2, 7, 14日 2日	圃場A : 0.10 (2回、0日) 圃場B : 0.08 (2回、2日) 圃場C : 0.17 (2回、2日)
カンタロープ (果実)	12	40%水和剤	0.38 lb ai/A 散布	4回	7, 10, 14日	圃場A : 0.39 (4回、7日) (#) 注2) 圃場B : 0.18 (4回、7日) (#) 圃場C : 0.20 (4回、10日) (#) 圃場D : 0.18 (4回、10日) (#) 圃場E : 0.14 (4回、7日) (#) 圃場F : 0.17 (4回、10日) (#) 圃場G : 0.17 (4回、7日) (#) 圃場H : 0.31 (4回、10日) (#) 圃場I : 0.35 (4回、7日) (#) 圃場J : 0.17 (4回、7日) (#) 圃場K : 0.15 (4回、7日) (#) 圃場L : 0.18 (4回、7日) (#)
サマースカッシュ (果実)	12	40%水和剤	0.38 lb ai/A 散布	4回	7, 10, 14日	圃場A : 0.05 (4回、7日) (#) 圃場B : 0.02 (4回、7日) (#) 圃場C : 0.05 (4回、7日) (#) 圃場D : 0.05 (4回、7日) (#) 圃場E : 0.03 (4回、7日) (#) 圃場F : 0.03 (4回、7日) (#) 圃場G : 0.04 (4回、7日) (#) 圃場H : 0.03 (4回、7日) (#) 圃場I : 0.04 (4回、7日) (#) 圃場J : 0.03 (4回、7日) (#) 圃場K : 0.02 (4回、7日) (#) 圃場L : 0.10 (4回、7日) (#)

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 (ppm) 注1)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
きゅうり (果実)	6	40%水和剤	0.38 lb ai/A 散布	4回	7, 10, 14日	圃場A : 0.03 (4回, 7日) (#) 圃場B : 0.03 (4回, 7日) (#) 圃場C : 0.08 (4回, 7日) (#) 圃場D : 0.01 (4回, 7日) (#) 圃場E : 0.04 (4回, 10日) (#) 圃場F : 0.18 (4回, 7日) (#)
結球レタス	1	40%水和剤	0.38 lb ai/A 散布	4回	7, 10, 14日	圃場A : 2.65 (4回, 7日) (#)
結球レタス	1	70%水和剤	0.38 lb ai/A 散布	4回	7, 10, 14日	圃場A : 2.33 (4回, 7日) (#)
結球レタス (外葉あり)	9	40%水和剤	0.38 lb ai/A 散布	4回	7, 10, 14日	圃場A : 0.59 (4回, 7日) (#) 圃場B : 1.99 (4回, 7日) (#) 圃場C : 2.02 (4回, 7日) (#) 圃場D : 2.24 (4回, 7日) (#) 圃場E : 1.28 (4回, 7日) (#) 圃場F : 0.27 (4回, 7日) (#) 圃場G : 4.56 (4回, 14日) (#) 圃場H : 1.56 (4回, 7日) (#) 圃場I : 2.24 (4回, 7日) (#)
結球レタス (外葉なし)	9	40%水和剤	0.38 lb ai/A 散布	4回	7, 10, 14日	圃場A : 0.03 (4回, 7日) (#) 圃場B : 0.39 (4回, 7日) (#) 圃場C : 0.67 (4回, 7日) (#) 圃場D : 1.33 (4回, 7日) (#) 圃場E : 0.17 (4回, 7日) (#) 圃場F : 0.03 (4回, 7日) (#) 圃場G : 0.29 (4回, 14日) (#) 圃場H : 0.05 (4回, 7日) (#) 圃場I : 0.03 (4回, 7日) (#)
非結球レタス	1	40%水和剤	0.38 lb ai/A 散布	3回	7, 10, 14日	圃場A : 10.16 (4回, 7日) (#)
非結球レタス	1	70%水和剤	0.38 lb ai/A 散布	3回	7, 10, 14日	圃場A : 10.81 (4回, 7日) (#)
非結球レタス	7	40%水和剤	0.38 lb ai/A 散布	4回	7, 10, 14日	圃場A : 3.64 (4回, 7日) (#) 圃場B : 11.49 (4回, 7日) (#) 圃場C : 1.18 (4回, 7日) (#) 圃場D : 2.74 (4回, 7日) (#) 圃場E : 1.62 (4回, 7日) (#) 圃場F : 6.08 (4回, 7日) (#) 圃場G : 8.02 (4回, 14日) (#)
アボカド	1	70%水和剤	1.6 lb ai/A 散布	2回	21日	圃場A : 0.20
アボカド	2	70%水和剤	1.6 lb ai/A 散布	3回	21日 ----- 23日	圃場A : 0.08 (3回, 21日) (#) 圃場B : <0.02 (3回, 23日) (#)
アボカド	1	70%水和剤	1.6 lb ai/A 散布	4回	21日	圃場A : 0.03 (4回, 21日) (#)
りんご (果実)	12	70%水和剤	1.6 lb ai/A 散布	1回	14日 ----- 15日 ----- 14日	圃場A : 0.560 圃場B : 0.933 圃場C : 0.460 圃場D : 0.162 圃場E : 0.147 圃場F : <0.100 圃場G : 0.683 圃場H : 0.258 圃場I : <0.100 圃場J : 0.228 (1回, 15日) 圃場K : 0.815 圃場L : 0.057

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 (ppm) 注1)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
なし (果実)	8	70%水和剤	1.6 lb ai/A 散布	2回	14日	圃場A : 0.59 圃場B : 0.36 圃場C : 0.96
					13日	圃場D : 0.90 (2回, 13日) 圃場E : 3.17 (2回, 13日) 圃場F : 0.79 (2回, 13日)
					15日	圃場G : 0.64 (2回, 15日) 圃場H : 1.22 (2回, 15日)
もも (果実)	12	40%水和剤	1.6 lb ai/A 散布	2回 又は 4回	12-15日	0.11-8.13
バナナ (無袋)	1	70%水和剤	0.3 lb ai/A 散布	4回	1日	圃場A : 0.175
綿実	3	70%水和剤	0.35 lb ai/A 散布	2回	14日	圃場A : 0.043 圃場B : 0.071 圃場C : 0.101
綿実	3	70%水和剤	0.35 lb ai/A 散布	4回	14日	圃場A : 0.082 (4回, 14日) (#) 圃場B : 0.124 (4回, 14日) (#) 圃場C : 0.126 (4回, 14日) (#)
綿実	3	40%水和剤	0.35 lb ai/A 散布	2回	14日	圃場A : 0.056 圃場B : 0.118 圃場C : 0.057
アーモンド	6	70%水和剤	2 lb ai/A 散布	1回	60日	圃場A : <0.05 (1回, 60日) 圃場B : <0.05 (1回, 60日) 圃場C : <0.05 (1回, 60日)
					59日	圃場D : <0.05 (1回, 59日) 圃場E : <0.05 (1回, 59日)
					60日	圃場F : <0.05 (1回, 60日)
ライチ (果実)	2	70%水和剤	1.6 lb ai/A 散布	2回	21日	圃場A : 0.192 圃場B : 0.098
ライチ (果実)	1	70%水和剤	1.6 lb ai/A 散布	3回	14日	圃場A : 0.175 (3回, 14日) (#)
スナック えんどう (さや)	7	70%水和剤	0.38 lb ai/A 散布	2回	22日	圃場A : <0.006 (2回, 22日)
					16日	圃場B : 0.011 (2回, 16日)
					34日	圃場C : <0.006 (2回, 34日)
					9日	圃場D : 0.007 (2回, 9日) (#)
					24日	圃場E : <0.006 (2回, 24日)
					23日	圃場F : <0.006 (2回, 23日)
15日	圃場G : <0.006 (2回, 15日)					
マンゴー (果実)	3	70%水和剤	0.39 lb ai/A 散布	5回	3日	圃場A : 0.50
					2日	圃場B : 0.63 (5回, 2日)
					3日	圃場C : 0.65
おうとう (果実)	13	70%水和剤	1.6 lb ai/A 散布	2回	13日	圃場A : 0.70 (2回, 13日) 圃場B : 1.32 (2回, 13日) 圃場C : 0.45 (2回, 13日)
					14日	圃場D : 0.46
					12日	圃場E : 0.48 (2回, 12日)
					13日	圃場F : 1.17 (2回, 13日)
					14日	圃場G : 0.31 圃場H : 0.57
					12日	圃場I : 0.52 (2回, 12日)
					14日	圃場J : 0.99 圃場K : 0.66 圃場L : 0.51 圃場M : 0.84
プラム (果実)	6	70%水和剤	1.6 lb ai/A 散布	2回	14日	圃場A : 0.048 圃場B : 0.071 圃場C : 0.226 圃場D : 0.249 圃場E : 0.493
					13日	圃場F : 0.081

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 (ppm) 注1)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
ぶどう (果実)	8	70%水和剤	0.5 lb ai/A 散布	2回	7日	圃場A : 0.343 圃場B : 0.365 圃場C : 0.050 圃場D : 0.118 圃場E : 0.043 圃場F : 0.709 圃場G : 0.452 圃場H : 0.227
パッションフルーツ (果実)	2	440g/L水和剤	26.4g lb ai/100L 散布	2回	1日	圃場A : 1.05 圃場B : 1.13
かき (果実)	2	440g/L水和剤	391,335g lb ai/A 散布	2回	28日	圃場A : 0.44 圃場B : 0.46

注1) 最大残留量：当該農薬の申請の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留量。（参考：平成10年8月7日付「残留農薬基準設定における暴露評価の精密化に係る意見具申」）

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留量が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留量が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について（ ）内に記載した。

注2) (#)：これらの作物残留試験は、申請の範囲内で試験が行われていない。なお、適用範囲内で実施されていない試験条件を斜体で示した。

食品名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	外国 基準値 ppm	
米(玄米をいう。)	0.5	0.5	○			0.158(\$),0.08
小麦	0.3	0.3	○			0.084, 0.093
レタス(サラダ菜及びびちしゃを含む。)	13	13			35	【0.03(#)-4.56(#)(n=20)(結球レタス)、1.18(#)-11.49(#)(n=9)(非結球レタス)】
その他のきく科野菜	3	3	○			0.517, 1.34(\$)(ふき)
トマト	1	1	○	1		0.405, 0.348/0.282, 0.732/ 0.392, 0.308/0.48, 0.30, 0.53, 0.61
ピーマン	2	0.5		2		
なす	1	1	○			0.48(\$), 0.42
その他のなす科野菜	10	0.5	申	10		2.98,3.64(ししとう)
きゅうり(ガーキンを含む。)	1	1	○	0.7		0.730(#), 0.250(#)/ 0.75, 0.35, 0.68, 0.36/0.52, 0.38/ 0.36, 0.45/0.39,0.44
かぼちゃ(スカッシュを含む。)	0.7	0.5		0.7		
しろうり	0.7	0.5		0.7		
すいか	0.5	0.5	○			
メロン類果実	0.5	0.5	○			
まくわうり	0.5	0.5				
その他のうり科野菜	0.7	0.5		0.7		
未成熟えんどう	0.02	0.02			0.02	【<0.006-0.011(n=7)(米国)】
みかん	0.3	0.3	○			0.081,0.052
なつみかんの果実全体	1	0.3	○	1		
レモン	3	2.5	○	1	2.5	【米国のオレンジ参照】 0.62(\$)/0.36
オレンジ(ネーブルオレンジを含む。)	2	2	○	1	2.5	【0.393-1.796(n=17)(米国)】
グレープフルーツ	3	2.5	○	1	2.5	【米国のオレンジ参照】
ライム	3	2.5	○	1	2.5	【米国のオレンジ参照】
その他のかんきつ類果実	3	2.5	○	1	2.5	【米国のオレンジ参照】
りんご	3	2	○	3		【0.057-0.933(n=12)(米国)】
日本なし	6	2	○	6		
西洋なし	6	4.0	○	6		【0.36-3.17(n=8)(米国)】
マルメロ	4	4.0				【米国のりんご及び西洋なし参照】
びわ	4	4.0	○			
もも	1	1	○			0.346(\$)/0.34,0.19
ネクタリン	9	1.9	○・申	9		
あんず(アプリコットを含む。)	0.7	0.7	○			0.30,0.19
すもも(ブルーンを含む。)	2	1.9	○	2		
うめ	5	1.9	○・申			1.91,2.74
おうとう(チェリーを含む。)	5	1.9	○・申	2		1.42,1.70
いちご	3			3		
ぶどう	1	1	○	1		
かき	1	1	○		1	【0.44,0.46(オーストラリア)】
バナナ	0.3	0.2		0.3		
キウイ	0.5	0.5	○			0.16,0.08
パパイヤ	0.9	0.9			0.9	【米国のマンゴー参照】
アボカド	0.3	0.3			0.3	【<0.02(#)-0.20(n=4)(米国)】
グアバ	0.3	0.3			0.3	【米国のアボカド参照】
マンゴー	0.9	0.9			0.9	【0.50-0.65(n=3)(米国)】
パッションフルーツ	2	2			2	【1.05,1.13(オーストラリア)】
その他の果実	5	0.7	○	5		
綿実	0.4	0.35			0.35	【0.043-0.126(n=9)(米国)】
くり	0.02	0.02	○			<0.005,<0.005
アーモンド	0.05	0.05		0.05	0.05	【<0.05(n=6)(米国)】
茶	30	20	○	30		

食品名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	外国 基準値 ppm	
その他のスパイス その他のハーブ	5 3	5 3	○	1		1.68(\$),0.40(みかんの果皮) (その他のきく科野菜参照)
牛の筋肉 豚の筋肉 その他の陸棲哺乳類に属する動物の筋肉	0.05 0.05 0.05	0.05 0.05 0.05		0.05 0.05 0.05		推:0.02 【牛の筋肉参照】 【牛の筋肉参照】
牛の脂肪 豚の脂肪 その他の陸棲哺乳類に属する動物の脂肪	0.1 0.1 0.1	0.1 0.1 0.1				推:0.05 【牛の脂肪参照】 【牛の脂肪参照】
牛の肝臓 豚の肝臓 その他の陸棲哺乳類に属する動物の肝臓	0.1 0.1 0.1	0.1 0.1 0.1		0.05 0.05 0.05		推:0.02 【牛の肝臓参照】 【牛の肝臓参照】
牛の腎臓 豚の腎臓 その他の陸棲哺乳類に属する動物の腎臓	0.05 0.05 0.05	0.05 0.05 0.05		0.05 0.05 0.05		推:0.02 【牛の腎臓参照】 【牛の腎臓参照】
牛の食用部分 豚の食用部分 その他の陸棲哺乳類に属する動物の食用部分	0.1 0.1 0.1	0.1 0.1 0.1		0.05 0.05 0.05		【牛の肝臓参照】 【牛の肝臓参照】 【牛の肝臓参照】
乳	0.02	0.02		0.01		推:0.004
魚介類	0.2	0.2				推:0.18
干しぶどう	2			2		
とうがらし(乾燥させたもの)	10			10		

本基準(暫定基準以外の基準)を見直す基準値案については、太枠線で囲んで示した。

「登録有無」の欄に「申」の記載があるものは、農薬の登録申請等の基準値設定依頼がなされたものであることを示している。

(#)これらの作物残留試験は、申請の範囲内で試験が行われていない。

(\$)これらの作物残留試験は、試験成績のばらつきを考慮し、この印をつけた残留値を基準値策定の根拠とした。

「作物残留試験」欄に「推」の記載のあるものは、推定残留量であることを示している。

ブプロフェジン推定摂取量 (単位: $\mu\text{g}/\text{人}/\text{day}$)

食品名	基準値案 (ppm)	暴露評価に用いた数値 (ppm)	国民平均 TMDI	国民平均 EDI	幼小児 (1~6歳) TMDI	幼小児 (1~6歳) EDI	妊婦 TMDI	妊婦 EDI	高齢者 (65歳以上) TMDI	高齢者 (65歳以上) EDI
米 (玄米をいう。)	0.5	0.119	92.6	22.0	48.9	11.6	69.9	16.6	94.4	22.5
小麦	0.3	0.089	35.0	10.3	24.7	7.3	37.0	10.9	25.0	7.4
レタス (サラダ菜及びびしやを含む。)	13	6.19	79.3	37.8	32.5	15.5	83.2	39.6	54.6	26.0
その他のきく科野菜	3	0.929	1.2	0.4	0.3	0.1	1.5	0.5	2.1	0.6
トマト	1	0.439	24.3	10.7	16.9	7.4	24.5	10.7	18.9	8.3
ピーマン	2	0.33	8.8	1.5	4.0	0.7	3.8	0.6	7.4	1.2
なす	1	0.45	4.0	1.3	0.9	0.4	3.3	1.5	5.7	2.6
その他のなす科野菜	10	3.31	2.0	0.7	1.0	0.3	1.0	0.3	3.0	1.0
きゅうり (ガーキンを含む。)	1	0.472	16.3	7.7	8.2	3.9	10.1	4.8	16.6	7.8
かぼちゃ (スカッシュを含む。)	0.7	0.195	6.6	1.8	4.1	1.1	4.8	1.3	8.1	2.2
しろうり	0.7	0.195	0.2	0.1	0.1	0.0	0.1	0.0	0.6	0.2
すいか	0.5	0.5	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
メロン類果実	0.5	0.5	0.2	0.2	0.2	0.05	0.1	0.2	0.2	0.2
まくわうり	0.5	0.5	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
その他のうり科野菜	0.7	0.195	0.4	0.1	0.1	0.0	1.6	0.4	0.5	0.1
未成熟えんどう	0.02	0.007	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
みかん	0.3	0.067	12.5	2.8	10.6	2.4	13.7	3.0	12.8	2.8
なつみかんの果実全体	1	0.04	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
レモン	3	1.239	0.9	0.4	0.6	0.2	0.9	0.4	0.9	0.4
オレンジ (ネーブルオレンジを含む。)	2	0.49	0.8	0.2	1.2	0.3	1.6	0.4	0.4	0.1
グレープフルーツ	3	1.239	3.6	1.3	1.2	0.5	6.3	2.6	2.4	1.0
ライム	3	1.239	0.3	0.1	0.3	0.1	0.3	0.1	0.3	0.1
その他のかんきつ類果実	3	1.239	1.2	0.5	0.3	0.1	0.3	0.1	1.8	0.7
りんご	3	0.28	105.9	3.9	108.6	10.1	90.0	8.4	106.8	10.0
日本なし	6	1.09	30.6	5.6	26.4	4.8	31.8	5.8	30.6	5.6
西洋なし	6	1.09	0.60	0.1	0.60	0.11	0.60	0.11	0.60	0.1
マルメロ	4	0.657	0.4	0.1	0.4	0.1	0.4	0.1	0.4	0.1
びわ	4	4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4
もも	1	0.292	0.5	0.1	0.7	0.2	4.0	1.2	0.1	0.0
ネクタリン	9	1.355	0.9	0.1	0.9	0.1	0.9	0.1	0.9	0.1
あんず (アプリコットを含む。)	0.7	0.245	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
すもも (プルーンを含む。)	2	0.155	0.4	0.0	0.2	0.0	2.8	0.2	0.4	0.0
うめ	5	2.325	5.5	2.6	1.5	0.7	7.0	3.3	8.0	3.7
おうとう (チェリーを含む。)	5	1.56	0.5	0.2	0.5	0.2	0.5	0.2	0.5	0.2
いちご	3	0.44	0.9	0.1	1.2	0.2	0.3	0.0	0.3	0.0
ぶどう	1	0.17	5.8	1.9	4.4	0.7	1.6	0.3	3.8	0.6
かき	1	0.45	31.4	14.1	8.0	3.6	21.5	9.7	49.6	22.3
バナナ	0.3	0.01	3.8	0.1	3.4	0.1	2.6	0.1	5.3	0.2
キウイ	0.5	0.12	0.9	0.2	0.7	0.2	0.6	0.1	1.0	0.2
パパイヤ	0.9	0.593	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
アボカド	0.3	0.083	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0
グアバ	0.3	0.083	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
マンゴ	0.9	0.593	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
パッションフルーツ	2	1.09	0.2	0.1	0.2	0.1	0.2	0.1	0.2	0.1
その他の果実	5	1.125	19.5	4.4	29.5	6.6	7.0	1.6	8.5	1.9
鶏卵	0.4	0.086	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
くり	0.02	0.005	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
アーモンド	0.05	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
茶	30	9.0	90.0	27.0	42.0	12.6	105.0	31.5	129.0	38.7
その他のスパイス	5	1.04	0.5	0.1	0.5	0.1	0.5	0.1	0.5	0.1
その他のハーブ	3	0.929	0.3	0.1	0.3	0.1	0.3	0.1	0.3	0.1
陸棲哺乳類の肉類	0.1	筋肉 0.02 脂肪 0.05	5.6	1.5	3.2	0.8	6.0	1.6	5.6	1.5
陸棲哺乳類の食用部分 (肉類除く)	0.1	0.02	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
陸棲哺乳類の乳類	0.02	0.004	2.9	0.8	3.9	0.8	3.7	0.7	2.9	0.6
魚介類	0.2	0.056	18.8	5.3	8.6	2.4	18.8	5.3	18.8	5.3
計			617.1	174.3	402.6	97.5	571.0	165.2	630.8	177.4
ADI比 (%)			128.6	36.3	283.1	68.6	114.1	33.0	129.3	36.4

高齢者については畜水産物の摂取量データがないため、妊婦については水産物の摂取量データがないため、国民平均の摂取量を参考とした。

TMDI: 理論最大1日摂取量 (Theoretical Maximum Daily Intake)

EDI: 推定1日摂取量 (Estimated Daily Intake)

「陸棲哺乳類の肉類」については、畜産物中の推定残留量を用い、筋肉及び脂肪の比率をそれぞれ80%、20%として試算した。

●: 個別の作物残留試験がないことから、暴露評価を行うにあたり基準値 (案) の数値を用いた。
ピーマン、かぼちゃ、しろうり、その他のうり科野菜、なつみかんの果実全体、りんご、日本なし、ネクタリン、すもも、いちご、ぶどう、バナナ、その他の果実、茶については、JMPRの評価に用いられた作物残留試験データを用いてEDIを試算した。

(参考)

これまでの経緯

平成17年	11月29日	残留農薬基準告示
平成19年	8月2日	農林水産省から厚生労働省へ基準設定依頼（魚介類）
平成19年	8月21日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成20年	5月15日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成22年	5月19日	残留農薬基準告示
平成24年	2月8日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：ネクタリン、うめ等）
平成24年	5月16日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成24年	12月10日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成25年	9月12日	薬事・食品衛生審議会へ諮問
平成25年	9月24日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会

● 薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会

[委員]

石井 里枝	埼玉県衛生研究所水・食品担当部長
延東 真	東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科教授
○大野 泰雄	国立医薬品食品衛生研究所名誉所長
尾崎 博	東京大学大学院農学生命科学研究科獣医薬理学教室教授
斉藤 貢一	星薬科大学薬品分析化学教室教授
佐藤 清	一般財団法人残留農薬研究所業務執行理事・化学部長
高橋 美幸	農業・食品産業技術総合研究機構動物衛生研究所上席研究員
永山 敏廣	明治薬科大学薬学部薬学教育研究センター薬学教育部門教授
根本 了	国立医薬品食品衛生研究所食品部第一室長
宮井 俊一	一般社団法人日本植物防疫協会技術顧問
山内 明子	日本生活協同組合連合会執行役員組織推進本部長
由田 克士	大阪市立大学大学院生活科学研究科公衆栄養学教授
吉成 浩一	東北大学大学院薬学研究科薬物動態学分野准教授
鰐淵 英機	大阪市立大学大学院医学研究科分子病理学教授

(○：部会長)